



『ネガティブ・ケイパビリティを考える—その理論と応用』

英国の詩人ジョン・キーツによって着想されたネガティブ・ケイパビリティの概念は、ビオンによって精神分析に導入されました。その意義は多様であり、学派を超えて、さまざまな観点から論じられています。今回の Lecture Day では、このネガティブ・ケイパビリティの概念を取り上げ、精神分析的臨床における理論と応用について、その概念の提示状況、後期ビオンにおける位置付け、対象関係論における意義、精神分析的集団療法における有用性などについて、3人の精神分析家に論じてもらいます。近年注目されているネガティブ・ケイパビリティについて、さまざまな角度から理解することのできる企画となっております。今回は、オンライン開催となっております。多くの皆様の御参加をお待ちしています。

日 時：2022年3月20日（日）

時 間：13：00～17：00

場 所：オンライン（Zoom）

参加人数：100名

対 象 者：心理臨床家、精神科、心療内科等精神保健に関する臨床経験をお持ちの方、
その他守秘義務を保持される方。

参 加 費：4,000円

プログラム：

司 会：吾妻壮

Opening Remarks：吾妻壮

講義 1. (13：00～13：50)

『ビオンによるネガティブ・ケイパビリティ；不確かさ、未知に持ちこたえること—ビオンの場合』

講師：松木邦裕

講義 2. (13：55～14：45)

『対象関係論の中にもみるネガティブ・ケイパビリティ』

講師：鈴木智美

講義 1, 2 についての指定討論：吾妻壮 (14：50～15：00)

フロアとの全体討論 (15：00～15：15)

——休憩 15 分間——15：15～15：30

講義 3. (15：30～16：20)

『精神分析的集団療法におけるビオンとネガティブ・ケイパビリティ』

講師：権成鉉

講義 3 についての指定討論：吾妻壮 (16：20～16：30)

フロアとの全体討論 (16：30～16：50)

Closing Remarks：吾妻壮

申込方法：日本精神分析協会事務局まで、fax または電子メールでお申し込み下さい。

Fax：03-3350-9749 Email：tokyo@jpas.jp

申込期限：2022年3月14日（月）

日本精神分析協会 LECTURE DAY

参加申し込み書

本参加申込書は **3月14日(月)まで** E-mail、FAX または郵便にてお送り下さい。

E-mail でのお申込みは、件名を「第8回 LECTURE DAY 申し込み」として、以下の項目を本文にお書き頂くか、申込書を添付して下さい。

日本精神分析協会事務局

E-mail : tokyo@jpas.jp Fax : 03-3350-9749

氏 名	フリガナ	女性 ・ 男性
連絡先 (自宅・勤務先)	〒	—
TEL/FAX		/
E-mail		
勤務先 (職種)		
参加費：4,000 円 ※先着順に受け付けます。参加の可否については受付後順次申込書に記載のメールアドレスにご連絡いたします。その際振込先のご案内もいたします。 参加が決まりましたら、締め切り日以降に Zoom のご案内をいたします。 なお、E-mail の欄には、Zoom の招待メールを受け取るアドレスをお書きください。		

※申込書に記載の個人情報は、セミナーのご連絡、ご案内の他には使用いたしません。